

まるごとじんけん

2025 人権ポスター入賞作品

高等学校の部

※学年は応募当時です。

第
78
号



いけたに めい
特選 池谷 芽依
(津名高校 1 年)



たけだ あつき
入選 武田 篤樹
(津名高校 1 年)



おがた あむ
佳作 小縣 有夢
(津名高校 1 年)



とひ ゆき
佳作 戸樋 有希
(津名高校 1 年)

- P2 淡路市人権教育研究協議会総会
- P3 淡路市じんけんイベントのご案内
- P4 特集
「子どもと人権」
- P5 うちの学校紹介します!
石屋小学校
わんぼいんと手話 第67回
- P6 人権の眼
川野 りえ さん
みなさまのおたより
- P7 クロスワードクイズ
- P8 2025人権標語入選作品



淡路市人権教育研究協議会

定期総会

5月21日(木) 淡路市役所において、2026(令和8)年度 淡路市人権教育研究協議会 定期総会を開催しました。

【活動方針】

『学び』をこころの豊かさへ

「学ぶこと」でつながり、つながることとでさらに学び、学んだことをまちづくりを生かす

【重点目標】

I 市内学校・保育園(所)・認定こども園との連携を深め、子どもたちの自尊感情を育て、多様性を尊重する考え方や、社会で自立できる力をつけ、人権文化の創造をめざす実践の交流を図る。

II 地域コミュニティや各種団体の特性を生かした主体的な活動を支援するとともに、人権のまちづくりを進める。

◆役員紹介

会長

山添 繁(二宮支部長)

副会長

向田 卓司(津名支部長)

栗山 靖(岩屋支部長)

坂惠 正和(北淡支部長)

織田 裕行(東浦支部長)

記念講演

地域で子どもを支えるしくみづくり

「人権 私の戦い方」

NPO法人兵庫SPO支援センター 代表理事

李 貫一さん

在日韓国人として生まれた李さんは、「本質」「目的」は何かを問いつつ、時代や多数派に流されない生き方をしてこられました。自分の「宿命」を「使命」ととらえ、与えられた立場を逆に社会の役割と考えて活動されています。その人生の歩みとまちづくりの実践の中で出会われた言葉や出来事を通して「人が人を支えること」を当たり前にするヒントをいただきました。

【新聞記者時代】

民族差別と向き合う二つの運動

を知る。一つは「民闘連」。まさに差別と闘う組織である。もう一つは「オモ」の会。オモとは「母」。学校活動の支援をしながら、民族教育の存続に向けた活動をする組織である。

イソップ物語「風と太陽」のように、戦う方法は力のみではない。差別をなくすには「知る・理解する・共に生きる」ことが重要だと気づく。

【NPOの世界へ】

新聞記者から企業勤務を経て、早期退職し、加古川でNPOの世界に入り、新たな気づきを得る。

世の中は少子高齢化の時代。行政の取組にも限界がきている。市民協働が不可欠になったのだ。また、経済成長より本当の幸福を問う成熟社会へと変化した。地域づくりの目的は豊かさではなく「幸せ」。社会の課題解決には市民自らが「自分ごと」としてとらえることが重要なのだ。

【淡路島へ】

「あなたはここに何をしに来たのか」その問いに答えるなら「そこに人がいるから」。本質ではない「違い」

が人の分断を生む。だが、地域に寄り添う時、その「違い」は無意味となる。

【実践】

- 洲本まちづくりカフェ
- 淡路島まちかどマルシェ
- 古民家再生「YORISOO米田家」
- 子ども食堂
- 子どもの図書館「きぼうの図書館」
- 洲本子ども第三の居場所みらいえ

【支えるしくみキーワード】

- レジリエンス(心の回復力・弾力性)
- ブリコラージュ
- (寄せ集めて新しいものを作る)
- 想定外
- ネガティブ・ケイパビリティ(即解決できない状況を受け入れ、思考し続ける力)

【支えるしくみづくりに大切な視点】

- 本質を問い続けること
- 寄り添う姿勢
- 続けること

講演後にはグループワークも行い、李さんの「寄り添う戦い方」から、淡路市のまちづくり、一人一人の生き方に多くの示唆をいただきました。



淡路市じんけんイベント・補助事業のご案内

淡路市は多様性を認め合う「人権のまちづくり」をめざし、さまざまなイベントや補助事業を行っています。

●お知らせ●

令和8年度より「市民人権課」は「市民交流・人権課」と「市民総務課」に再編されました。人権に関することは「市民交流・人権課」が担当いたします。場所は以前と変わらず、淡路市役所1号館2階です。

■お申し込み・お問い合わせ

市民生活部 市民交流・人権課 人権推進係
〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
TEL 0799-64-2521
FAX 0799-64-2565

◆じんけん市民講座 ※いずれも時間は14:00～16:00 場所は市役所2号館3階会議室

開催日	テーマ	講師
9月28日(月)	外国人との共存	英語講師 清水 真美さん
10月15日(木)	障がい	NPO 法人 together 別府 一樹さん
11月13日(金)	不登校	サドベリースクールゆ～ゆう 多鹿 友梨さん
1月22・25・27日のいずれか	男女共同参画	豊岡市ジェンダーギャップ対策専門員 上田 篤さん
2月1日(月)	感染症	B型肝炎患者大阪原告団 安富るり子さん

◆女性のためのチャレンジ相談

開催日	場所・時刻	内容	相談員
7月21日(火)	淡路市役所(各50分) ① 13:30～ ② 14:30～ ③ 15:30～	再就職、起業など何かにチャレンジしたい女性のための無料個別相談です。	社会保険労務士法人 ポジティブシャワー 西本 恭子さん
9月4日(金)			
11月4日(水)			
1月18日(月)			
3月4日(木)			

◆島の居場所 (LGBTQ + 及び支援者 ALLY の交流会)

日時：毎月 第2日曜日 14:00～

場所：アトリエカフェ く・るくす (淡路市久留麻 298-2)

◆淡路市じんけんイベント

人権シネマの集い 7月18日(土)サンシャインホール ① 13:00～ ② 16:30～(各120分)
映画「35年目のラブレター」(120分)【テーマ】識字【主演】笑福亭鶴瓶・原田知世／重岡大毅・上白石萌音
人権を考える集い 12月5日(土)サンシャインホール

◆人権教育住民学習支援事業 (淡路市人権教育研究協議会)

市民が主体となって実施する人権学習を支援しています。ご活用ください。

【助成額】飲み物代 200円×人数(10人以上) + 事務経費 1,000円

※人権啓発DVDの貸出等も行っています。

特集

「子どもの人権」を考える

昔から日本では「子どもは宝」と言われます。地域や国の未来を作り、希望を与えてくれる存在だからでしょう。しかし、世界では戦争が続き、多くの子どもたちの命や生活が犠牲になっています。また、少子化が進む日本では、その言葉の持つ意味が年々重くなりつつあります。そこで、今回は「子どもの人権」に焦点をあててみました。

子どもの権利条約(ユニセフ)

1989年に世界中の子どもたちの基本的人権を守るため、国連で「子どもの権利条約」が採択されました。子どもを「弱くて守られる存在」としてだけでなく、権利を持つ「権利の主体」であると考え、従来の考え方を大きく転換させた条約です。この条約には次の4つの原則があります。

差別の禁止

すべての子どもは、子ども自身や親の人種、性別、意見、障がい、経済状況など、どんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

子どもの最善の利益

子どもに関わるあらゆる決定や行動において、何よりも子どもの幸福・成長・安全・権利を優先して考えます。

生命・生存及び発達に対する権利

すべての子どもは、命が守られ、もって生まれた大切な力をその子のペースで十分に伸ばせるよう、医療、教育、生活支援などを受けることが保障されます。

子どもの意見の尊重

子どもは自分に関わるあらゆることについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを子どもの発達に応じて真剣に受け止め、一緒に考え行動していきます。

4つの原則は「4つの柱」とも呼ばれます。

生きる権利

安全に健康に生まれ、十分な栄養や医療を受け、健やかに成長するための権利

育つ権利

教育を受ける、休んだり遊んだりする、自分らしく成長するために必要な情報を得る権利

守られる権利

あらゆる暴力、虐待、搾取、有害な労働などから守られる権利

参加する権利

自分に関わることについて自由に意見を言ったり、自由に集まって活動したりできる権利

こども基本法(日本)

前述の「子どもの権利条約」の理念に基づき、日本では2023年4月に「こども家庭庁」の設置と同時に「こども(ひらがな表記)基本法」が施行されました。子どもや若者が、自分らしく幸せに成

長でいる社会をめざしたものです。

この法律には、先の4つの理念に加え、次の2つが明記されています。

家庭のサポート

子育てをしている家庭のサポートが十分に行われること。

家庭で育つのが難しい子どもに家庭と同じような環境が用意されること。

社会づくり

家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること。

この2つが明記されたのには、親が子の命を絶つという事件が続いた悲しい背景があります。子育てに自信が持てない、経済的理由等で子育てできない、そんな家庭を支援するという地域・社会・行政の責務にも言及しています。

私たち一人一人にもきつと何かができるはず。

「宝」である子どもたちの健やかな成長は、淡路市の未来にとって重要な課題です。

うちの学校紹介



その 39
石屋小学校

「いのち」と「人権」を大切にしている学校

これが、石屋小学校の学校教育目標です。

その目標を実現するために進めている様々な学習活動の中で、今回は、二つの取組について、ご紹介します。

①感謝と認め合いの輪を広げる「人権集会」

本校では、毎年二学期と三学期に「人権集会」を開催しています。

二学期の人権集会では、「いのち」や「人権」を主題にした絵本の読み聞かせ会を行い、登場人物の気持ちに寄り添いながら、「いのちの大切さ」や「支え合ふことの素晴らしさ」を深く学び、人権意

識を高める機会となっています。

三学期の人権集会では、学年を超えた縦割りグループで集まり、「優しくされて嬉しかったこと」や「支えてもらって心が温かくなった経験」を発表し合います。それを花の形の紙に書き、全校生の想いが詰まった「ありがとうの花」として校内に掲示しています。

また、年間を通じて、友達の素敵な言動や自分自身の頑張りを認め合う「咲かせよう！ステキな花」という活動に、日常的に取り組んでいる学年もあります。

②ちがいを認め、共に生きる社会を体感する「福祉体験学習」

本校では地域の社会福祉協議会と連携し、毎年、四年生が「福祉体験学習」に取り組んでいます。

まず、目の不自由な方や耳の不自由な方を特別講師としてお迎えし、日常生活の様子や普段感じていることなど「生の声」を直接お聞きしま

す。その方々を決して特別視することなく、誰もが安心して笑顔で暮らせる「共生社会」をつくるために、何ができるかを、子どもたちは自分事として真剣に考えます。

さらに、アイマスフ体験や車いす体験を通して、街の中に潜む不安や危険、そして周囲からの支援がいかに大切であるかを体感します。その上で、手話や点字、車いす介助の具体的な技術を学ぶことで、「自分にもできる支援」へとつながり、困っている人に出会った時に進んで行動できる意識を高めています。

石屋小学校は、これからも、子どもたちの豊かな人権意識を育むために、地域や家庭と連携し、様々な教育活動を通して、子どもたちの心の中に温かい人権の種をまき続けてまいります。



アイマスフ白杖体験

ぽわん 手話 !!

第 67 回

テーマ 「手話施策推進法」

「手話施策推進法」（正式名称「手話に関する施策の推進に関する法律」）は、2025年6月25日に施行された、手話を必要とする人が、当たり前の手話を使って生活できる社会をめざすための法律です。

この法律では、手話は情報を伝えたり、考えたりするための大切な「言語」であると位置づけています。さらに、手話を使いやすい環境を整えることは、国や都道府県、市区町村の責務であると明記されました。

具体的な内容としては、手話通訳者の配置、手話を学ぶ機会の提供、手話に関する情報の提供

などです。

手話に関する取組を進める際、手話を使っているろう者やその家族などの意思を尊重することを基本理念とし、手話を使う人の権利を守り、誰もが自分らしく暮らせる「共生社会」の実現をめざしています。

手話表現「広める」

①胸の前で両手の5指を握る。



②指を開きながら、左右斜め前へ出す。



協力…淡路聴力障害者協会 手話サークル津名

私はこれまで多くの子どもたちと接してきました。子どももつてよくけんかしますよね。すぐに仲直りすることもあれば、絶対に譲らないこともあります。

けれどもよく聞くと、それぞれの言い分になるほどと感ずることがあります。「ブランコ使うつて先に言ったのは、ぼく。」

「並んだのはわたしが先。」だから先に使つのは自分だといった具合です。どちらもあるが間違いじゃありません。でも、何かがちよつと足りないだけです。

少し大きな子どもたちには、こんな話をします。

「これどんな形？」

「円！」

「長方形！」

見せた形は円柱です。底面を見た子は「円」と答え、側面を見た子は「長方形」と答えます。両方正しい。でも、両方正解ではない。真にその形を知るには二つ

の視点を合わせる必要があります。角度を変えて斜めから見た人の方が正解に近づけることさえあります。

先程の「ちよつと足りない何か」というのは、自分の見方だけに固執せず、相



コラム まなこ
人権の眼 No. 78

円？長方形？ ～正しさの側面～

川野 りえ

手の話に耳を傾けること。これができれば、けんかしないで済むばかりでなく、物事の真理に近づくことができるはずですよ。

子どもに限らず大人も、自分が信じる「正しさ」を

譲れないことはあります。大人には譲るべきでない場面もあるから当然です。

さらに、大人になると「正しさの側面」はどんどん多面的になり、真実が簡単には見えなくなります。

そういう時こそ、相手の話（視点）に耳を傾けることが大切になるのですね。

などと語っているうち、

冒頭の「ブランコ」の一件は

「かたみんこで使えよ。」

とかいう誰かのひとことで、

いつの間にかやう交代で遊んで

います。そういうところが

子どもたちの偉大なところ

ろ。「遊ぶ」という共通の

目的のために、自分の正し

さへのこだわりを手放し、

解決策を受け入れるのにそ

れほど時間はかかりませ

ん。さつきまで絶対に譲ら

なかったとしても、です。

大人はどうでしょう。私

はどうなのかな。教えてい

るつもりで、いつも教えら

れてばかりの私です。

みなさんのおたより

●友人の妹の作品が入賞していてすごいなと思いました。久しぶりにクロスワードクイズをやってみました。とても楽しかったです！個人的には「彼方此方」「此処彼処」の読み方を問う問題が面白かったです。「あちこち」って読むんですね。勉強になりました。（10代）

●挑戦者現れました！（30代）
●毎号楽しく見えています。わんぱいんと手話勉強になります。（40代）

●クイズ担当者にあつぱれ！（50代）
●記念講演「あきらめない心」伊藤真波さんの記事に一言。交通事故で右腕を失った彼女は、障がい自分らしさと受け止め、さまざまにとに挑戦し、夢を現実のものとしませんが、その原動力はあきらめない心でした。もしも、自分がその状況に置か

れた場合、果たしてこのように前向きに生きていけるかはなはだ疑問ですが、ネガティブ思考をポジティブ思考に変えるきっかけをもらった気がします。（50代）

●どのポスターも標語も力強さを感じました。この感性を伸ばし続けてください。（60代）

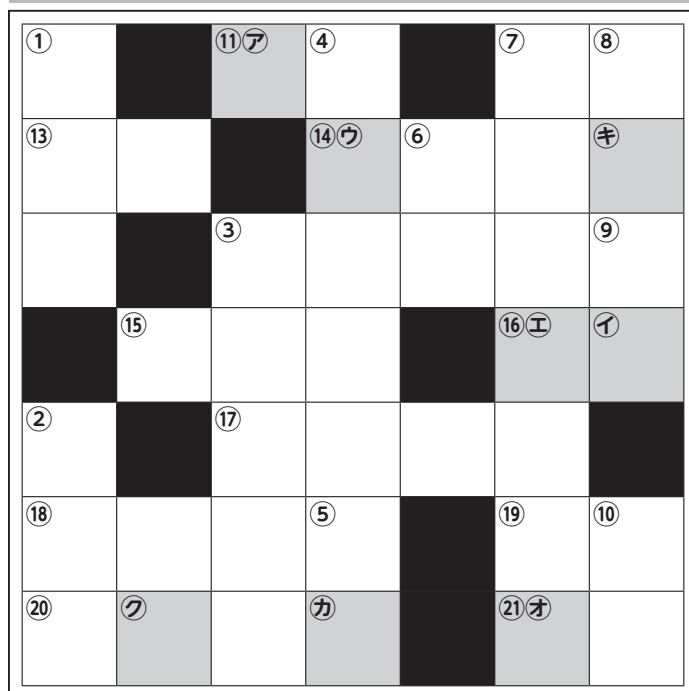
●子どもたちのポスターに感動！しっかり考えていると感心させられました。（60代）

●「ケンポウ」という言葉はよく知っていますが、漢字で書くとなると辞書で引かないとわからなかったです。この年になつて初めていろんな事がわかつてきました。特に「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」などです。（70代）

●人権ポスターに圧倒されました。プロの域です。（70代）

●伊藤真波さん、とてもすばらしい方ですね。「あきらめない心」何にでも挑戦する姿に心打たれました。（80代）

クロスワードクイズ



★ 8 文字(ア～ク)のできる言葉が答えです。

アイウエオカキク

ヒント→①②③④は 4つの柱です。

【タテのカギ】

- ① 大きくなること 成長すること
- ② 英語で live 命があること
- ③ 加わること 関わること
- ④ 保護されること 安全を保障されること
- ⑤ あなたは大切な家族の一〇だ
- ⑥ フランス語で「いいえ」は?
- ⑦ 昭和の落書き 7文字のひらがなで描かれた顔
- ⑧ くぼ地に水がたまった場所
- ⑨ 2023年大阪湾に注ぐ河川口に迷い込んだマッコウクジラの愛称 秀吉の妻もこう呼ばれた
- ⑩ 小中学校の教科 高校では生物・物理・科学

【ヨコのカギ】

- ③韓国語で「愛してる」
⑦むこうの空き地に囲いができたんだって
⑪昔のお正月遊び 回して遊ぶ
⑬派手で人目を引くこと 戦国武将名に由来

- ⑭日本にいると信じられている妖怪や精霊
- ⑮マリーオ・リボーニ・ステルン作「○○○の物語」(1998)の主人公
- ⑯○○もと過ぎれば 熱さ忘れる
- ⑰春～夏、親子で草むらから水辺へと移動する姿が可愛いと人気の生き物
- ⑱あの子は○○○○の江戸っ子だ
- ⑲ドクター○○は救急医療用の乗り物
- ⑳アンパンマンを弱らせる、いたずら大好きかび○○○○
- ㉑高級寿司店の「○○」表示にドキドキ

◆クイズの答え、住所・氏名・年齢(学年)とご意見・ご感想・イラストなどをハガキに書いてご応募ください。下のQRコードからでもご応募いただけます。正解者の中から抽選で図書カードをプレゼントします。

【あて先】

〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
淡路市市民生活部市民交流・人権課
クロスワードクイズ 係

【しめきり】

2026年8月31日(月)(当日消印有効)

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



第77号
の答え

「じんけんさんほう」

(人權三法)

	②ク う		⑤ あ	⑦ア じ	⑨ さ	し
① は	る	④ い	ち	ば	①イ ん	
⑩ っ	ち	の	こ		⑪ か	③オ さ
が		⑫ し	ち	⑧ た	④カ ん	
⑬ っ	③ く	し		⑭ウ け	し	き
⑮ お	ぎ		⑥キ ほ	の	お	
	⑬ に	ゆ	う	こ	⑤工 ん	

2025 人権標語入賞作品

【中学校の部】 【高等学校・一般の部 後半】

2025 人権標語【中学校の部】

特選	違いこそ 光を放つ 君の色	岩屋中学校 3年	にしお 西尾	ゆあ 結愛
入選	ふつうとは みんなが作る 形だよ	北淡中学校 1年	かわはた 川畑	たける 壮琉
入選	『大丈夫』 かくす本音に 気づいてよ	津名中学校 2年	みはら 三原	ひなり 緋音
入選	ためてるの あなたにあげる 元気玉	岩屋中学校 3年	あらはた 荒畠	みつき 翠月
佳作	知らないを 知ろうとするのが 第一歩	東浦中学校 1年	すずき ななこ	鈴木奈々子
佳作	差し伸べて 光を灯す 温もりの手	岩屋中学校 2年	たちぎ うた	立木 羽音
佳作	その笑顔 心の中は 笑えてる?	一宮中学校 2年	しら やまり いさ	白山莉衣紗
佳作	その言葉 伝える前に ひと呼吸	東浦中学校 2年	なかがわ みゆ	中川 心結
佳作	普通はない 自分が好きな 自分でいい	津名中学校 2年	かたやま ももあ	片山 桃愛
佳作	大丈夫? 悲しい雨が 降る前に	東浦中学校 3年	はら 原	ひなの

2025 人権標語【高等学校・一般の部 後半】

佳作	文字よりも 顔見て伝える 「ありがとう」	一宮小学校保護者	なんじょう 南条	ゆうすけ 勇介
佳作	多様性 一人一人が 主人公	北淡小学校保護者	いんどう 犬童	ひろふみ 浩文
佳作	繋げよう あなたの心と わたしの心	津名東小学校保護者	なか の 仲野	まさよ 将代
佳作	思いやり ひとつひとつが 花となる	淡路高等学校 1年	しまざき 島崎	みおん 美音
佳作	ありがとう その一言に ありがとう	津名高等学校 1年	かわ 川	そら 蒼空

2026 人権の花運動 ご協力ありがとうございます

塩田保育園・志筑保育園・大町保育園
北淡認定こども園・浦保育所